

R6年度の取組状況（取組方針① 既存公園緑地の官民連携）

- ・住吉公園や長居公園等において、公園の魅力向上につながる飲食店や展望台等の新たな施設を設置した。
- ・鶴見緑地において、公園の利活用促進につながる、最新技術を展示・体験するイベントを実施した。
- ・久宝寺緑地において、公園の魅力や利用者サービスの向上を目的に、PFI事業者を決定した。

○ 民間の活力による飲食店や展望台（グラウンディングツリー）等の新たな施設をオープン



◆ 住吉公園（飲食店）
（写真提供：RETOWN・E-DESIGN共同事業体）



◆ 長居公園（グラウンディングツリー）



○ 鶴見緑地で開催されたPARK JAMでは、公園の利活用促進につながる最新技術を展示、体験



◆ 移動・会話等ができるアバターロボット



◆ スマートモビリティ

○ 久宝寺緑地のプール再整備と公園全体の管理運営を一体としたPFI事業者を決定



◆ 久宝寺緑地（プール）

※上記画像はイメージであり、今後、関係機関との協議を踏まえ変更の可能性があります。

- ・2025年大阪・関西万博の機運醸成を図るイベントや公園の回遊性を高めるプロジェクトを実施した。
- ・都市緑化に関する最新の知識等の共有を図るため、府下市町村職員を対象とした研修会を実施した。

○ おおさか都市緑化フェアやPARKJAMにおいて、府市連携のもと、各公園のPRや2025年大阪・関西万博のPRブースを出展



◆おおさか都市緑化フェア（久宝寺緑地）



◆PARK JAM（鶴見緑地）



○ 府営公園と大阪市の大規模公園を対象に、公園の魅力発見や回遊を目的とした、デジタルスタンプ「みっけ」ラリーを実施

○ 「SDGs社会の実現に向けたみどりの役割」をテーマとして、全市町村職員を対象とした研修会を実施



- ◆企業協賛により実施
 - ・明治安田生命相互会社
 - ・カゴメ株式会社
 - ・コーナン商事株式会社
 - ・アース製薬株式会社
 - ・四国開発フェリー株式会社

◆提供景品例



◆デジタルスタンプ「みっけ」ラリー



◆公園都市緑化技術研修

R6年度の取組状況（取組方針③ まちづくりと一体となった新たな公園緑地整備）

- ・みどりとイノベーションの融合拠点となる「うめきた公園」や歴史の魅力あふれる「難波宮跡公園（北部ブロック）」を新たにオープンした。
- ・「りんくう公園（中地区）」における新たな魅力向上を図るため、P-PFI事業者を決定した。

- 大阪駅前の「うめきた公園」を2024年9月先行まちびらきに合わせ一部オープン

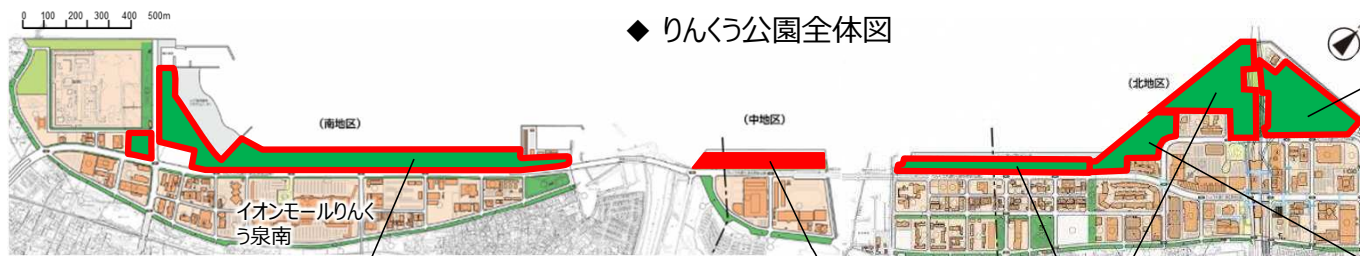


- 大阪の歴史観光の拠点となる「難波宮跡公園（北部ブロック）」を2025年3月にオープン



完成予想パース

- りんくう公園（中地区）における既開設区域や周辺施設と一体となった賑わいづくりを進める、P-PFI事業者を決定
スケートリンク等の公園的利用



◆ りんくう公園全体図

泉南市営りんくう公園
(せんなんロングパーク)



府営りんくう公園（中地区）



ビーチスポーツ施設

レストラン

府営りんくう公園（北地区）



民間活力によるみどり空間の創造
(アウトレットパーク)



※上記画像はイメージであり、今後、関係機関との協議を踏まえ変更の可能性があります。